

■洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会） 2月度学術講演会
（2015/2/19, 18:30～, 会場；ステーションホテル小倉）

「 緑内障の治療について 」

産業医科大学医学部 眼科学講座 石橋 真吾 先生

〔講演要旨〕

緑内障は、厚生労働省の調査結果において中途失明原因の最上位疾患である。また、疫学調査「多治見スタディー」によると、40歳以上の日本人成人の概ね5%が緑内障に罹患している。

今後、本邦において超高齢化社会の進行と共に緑内障患者は増加する事が予想され、眼科診療の中で緑内障診療の占める比率が量的にも質的にも増加すると考えられる。

現在の医学においても、緑内障でいったん失われた視機能を回復する事は困難であるが、適切な治療に基づく治療および管理を行う事により、視機能低下の進行を抑制し、緑内障患者の生涯にわたる「生活の質を維持・管理」する事が可能となっている。

今回の講演において、一般的な「緑内障の治療」について私なりの考えを述べる。